

みなみじゅうじせい



【学校教育目標】笑顔いっぱい

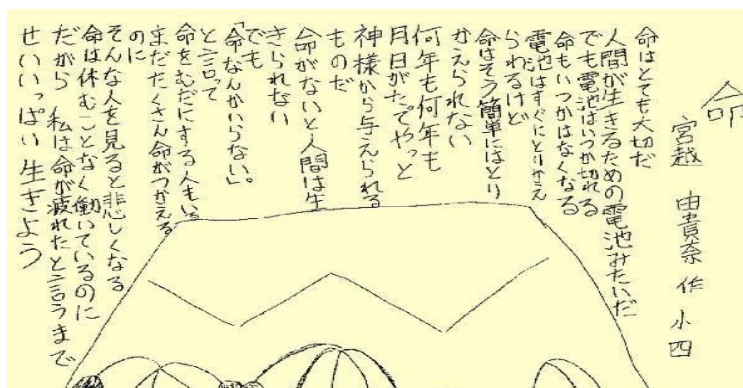
～やる気・やさしさ・根気強さのある みなみっ子の育成を図る～

長崎市立南長崎小学校 校長 宇土 衛

「心を見つめる教育週間」

6月22日（月）～6月28日（日）の1週間は、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。長崎県内ではこれまでに、この時期に子どもの命に関わる事案が多く発生したため、県内すべての小中学校で「心を見つめる教育週間」を実施しています。

初日の全校集会では、5歳で重い病気にかかり5年半の間病氣と闘い、11歳で亡くなった宮越由貴奈さんの「命」という詩を紹介しました。



また、昨年度も伝えた「命はだ・い・じ」をイラスト付きで話をしました。



「南長崎小学校には、260人分の命があり、何があっても決してその命の火を消してはならない。自分の命も、友達の命も大切にすること。」「いつにも増して、『命』について真剣に学び、みんなで「笑顔いっぱい」になろう。」と伝えました。真剣に話を聞く姿が見られ、とても嬉しく思いました。



日々の学びが子どもの成長を促します

前述した教育週間はもとより、各学年で様々な学びに取り組んでいます。

水泳指導

6月15日から水泳指導が始まりました。昨年度は、お天道様が頑張って、暑い中プールに入れたのですが、今年は…。それでも子どもたちは、笑顔で一生涯懸命に水と仲良くなろうとしています！



6年1組研究授業

学校だより No4 でお伝えしたように、今、私たちは「自分で考え、行動し、学び続ける力」を子どもたちに育むべく、授業研究等行っています。その一環として、6月16日に6年1組で「こんな授業どうですか？」と先生方に提案する授業を立川先生が行いました。今回は、国語の大家であられる純心大学の山崎教授をお招きしての取り組みでしたが、6年1組の子どもたちは、大変頑張っていました！山崎先生からもお褒めの言葉をたくさんいただきました。



またそれを受けて、多くの学年・学級で、子どもたちが主体的に学べるような工夫ある授業が行われています。



HPも随時更新しております。ぜひご覧ください。